



原子力・エネルギー教育支援事業 施設見学

「へきなんたんトピア」に行ってきました。

期 日：平成27年10月28日(水)、参加者：理系2, 3年生 計43名

① 演示実験「発電のしくみ」

磁石の中でコイルが回転すると発電する装置と図を用いたり、やかんの沸騰した湯から出る蒸気でタービンを回す装置を使用したりした演示実験を見学し、発電の仕組みを学びました。

② 発電所紹介DVD

碧南火力発電所での石炭を用いた発電や環境への取組についての紹介ビデオを視聴しました。

石油に比べて石炭は埋蔵量が多く、原子力発電の燃料のウランと同等の百数十年もつといわれています。石油と同様に輸入に頼っていますが、安定した国々から輸入しているそうです。しかし、百数十年しかもたないと考えると、持続可能性を考えたエネルギー開発の必要性を強く感じます。



③ 発電所見学

タービン建屋、制御室、貯炭場等を、貸切バスで移動しながら見学しました。ディズニーランド&ディズニーシーが2個ずつ入ってしまう広大な敷地で大規模な発電が行われていることを実際に見学できたことは、よい経験になりました。毎日のように多量の石炭が輸入されていますが、あっという間に使い切ってしまうという説明を聞き、電気を大切にしなければいけないと実感した生徒もいたようです。



④ 自由見学

電力館で、発電のしくみや環境への取組についての説明が、ボールなどを用いてわかりやすく展示され、楽しく体験できるコーナーもありました。いろいろな石炭も触ることもでき、発電所で何が行われているかを勉強しました。となりのヒーリングガーデンは花や緑いっぱいの広場で、発電所が自然を大事にしていることが伝わってきました。

⑤ 「メガソーラーたけとよ」DVD

中部電力が行っている知多郡武豊町の太陽光発電についてのDVDを見ました。太陽光発電はCO₂を出さないのが魅力です。ナゴヤドーム3個分の広大な面積に太陽光発電パネルを39,168枚敷き詰めていますが、メガソーラーたけとよ1年分の発電量が碧南火力発電所の1日分しかないことや、天候の影響を受けやすいことなど、安定した大規模発電にはほど遠い現状がありました。



今後の予定

学校での食品官能検査

2年6組化学の授業や業後等を実施

2年6組生徒以外の様々な人にも検査の協力をお願いします。